

2023年度
第14回 U10サッカーリーグ
大会要項



主 催：NPO法人伊勢サッカー協会
主 管：NPO法人伊勢サッカー協会少年部

2023年度 第14回U10サッカーリーグ

1. 主旨

NPO法人伊勢サッカー協会少年部に加盟するチーム選手の心技体の向上と、審判員の技術向上を目的に開催する。
尚、2023年度については鳥羽志摩協会加盟チームのうち5チームが当リーグへ特別参加する。

2. 主催

NPO法人伊勢サッカー協会

3. 主管

NPO法人伊勢サッカー協会少年部

4. 参加・出場資格

2022年度（公財）日本サッカー協会の第4種加盟登録されたチーム・選手でスポーツ安全保険に加入していること。
但し出場選手は、4年生～2年生の選手であること。

5. 競技規則

（公財）日本サッカー協会競技規則に順ずる（8人制サッカー規則 グリーンカード適用試合）

競技細則 ・ピッチサイズ 縦70m（以内）×横50m（以内）

・自由交代制を採用する。

・退場及び2度の警告を受けた選手は次の1試合に出場できない。

（警告については全ての日程に累積する）

・試合開始5分前に選手は、試合グラウンドに集合し円滑な試合進行に協力する。

6. 試合方法

参加14チームによる総当たりリーグ戦を行う。

※勝ち点は、勝ち…3 引分…1 負け…0 とする。

※リーグ戦の成績は、勝ち点→得失点→総得点→当該対戦で決定し、それでも決しない場合はPK戦（3vs3、以降サドンデス）を行う。

7. 試合時間

30分（15分-5分-15分） 1節につき、各チーム1～3試合とする。

8. 審判員

日本サッカー協会登録審判員であること。大会主旨の観点から審判員は、2023年度審判員新規取得者も各チーム審判員の指導を受けながら審判員を務める事もできる。（審判員の育成の観点から）

帯同審判員は指導者と兼ねても良いが着替えること。試合運営に支障をきたさないこと。

審判員1人制を採用する。（主審のみ）

※交代時は各チーム指導者が選手に教えながらサポートすること。

（仮に交代時の不備が起きてしまっても主審が把握していなかった場合、反則、警告にはしない）

※主審に不測の事態が発生した場合→試合を一旦ストップし、他に主審を代わってもらえる人を探す。

他にいない場合は該当チーム同士で相互審判で再開する。

9. 日程

2023年4月9日（日）第1節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

2023年4月23日（日）第2節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

2023年9月16日（土）第3節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

2023年10月8日（日）第4節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

2023年10月15日（日）第5節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

※都合により、上記日程以外の日程を追加する場合は、当該日程が決まり次第出場14チームへ日時を案内する。
この場合（上記日程にない追加日程で試合を実施する場合）の参加可否については、チーム判断に委ねる。

10. 表彰等

1・2・3位チームに表彰状。1位のチームにトロフィー。各チーム1名に優秀選手賞（メダル）。

※伊勢協会加盟11チームのみの順位表を別で作成し、当該順位における上位2チームは2023年度のOKAYAカップU10に出場する。

これについてはスケジュールの都合により、最終節を終えるまでの途中暫定順位において決定する場合がある。

【暫定順位決定方法】

参加チーム決定期日までの終了節を対象にして、その時点で最も消化試合数の少ないチームに合わせ、各チーム第1節からスケジュール順に沿って当該試合数までの試合結果をカウントする。その後、大会要項「6.試合方法」に記載する内容と同様の方法で全チームを順位付けし、暫定順位を決定する。（この場合の暫定順位決定において暫定順位を決める上で対象とする試合は、伊勢協会同士の対戦のみとする。）

●感染症の状況などで最終的に全ての試合の消化が不可となった場合、最終順位付けは下記の通りとする。

①消化済みの全試合を合わせ、計画している全試合数に対する試合消化率が50%以上の場合

消化済み試合を対象とした暫定順位により順位決定を行う。

【暫定順位決定方法】

最も消化試合数の少ないチームに合わせ、各チーム第1節からスケジュール順に沿って当該試合数までの試合結果をカウントする。その後、大会要項「6.試合方法」に記載する内容と同様の方法で全チームを順位付けし、暫定順位を決定する。

②消化済みの全試合を合わせ、計画している全試合数に対する試合消化率が50%に満たない場合

抽選にて順位付けを行う。

11. 登録について

2023年度OKAYAカップU10三重県大会伊勢予選の為、各チームとも登録用紙（エントリー表）に氏名・選手登録番号を記載し、毎節本部へ用紙を提出すること。

12. 1人制審判員採用の基本的な考え方

審判1人制を採用することにより審判員の育成を行う。オフサイドについては疑わしきは罰せず。審判団に対するジャッジについては、チーム・指導者・保護者すべての者は不平不満を表さない。

13. その他

①雨天や猛暑等により、試合を中止にする場合がある。中止は試合当日もしくは前日に決定する。

②大会は原則として伊勢フットボールヴィレッジで行うが、学校行事との重複や天候による中止等、特定の節の全試合もしくは一部の試合が延期となった場合、日程追加・ナイター開催・他会場での実施等、柔軟に対応する。

③伊勢フットボールヴィレッジを利用する場合、ピッチ内への入場は選手と帯同スタッフのみ可能とする。また、ピッチ内へ持ち込める飲料は「水」もしくは「スポーツドリンク」とする。

④ベンチ入りスタッフはおおむね5名までとする。（そのうち1名はピッチ内で試合の撮影を可能とする。）

⑤会場設営・撤収については各チームの協力で行うこと。原則設営は毎節各ピッチの1試合目に該当するチームで行い、撤収は毎節各ピッチの最終試合（最終試合=フレンドリーマッチも含む）に該当するチームで行うこと。

⑥毎節の本部運営や試合結果の管理は、各カテゴリーの運営担当チームが行い、試合結果は伊勢協会少年部長宛てにメール等で連絡すること。

⑦喫煙は指定の場所で行い、ゴミ・吸殻等は各チームで持ち帰ること。また、路上駐車や駐車場の場所取りは禁止とし、その他各チームの責任で常識ある行動をとること。

⑧（伊勢フットボールヴィレッジCピッチの場合）保護者の観戦はピッチ外/防護ネットの外とし、別途都度案内がある場合は当該案内に従う。その他の会場については、その都度指定をした場所での観戦とする。

⑨選手の用具について

1 本大会に登録した1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が好ましい。）

2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。（ビブス等も可。ユニフォームの代わりにビブスを着用する場合は必ず背番号付きとし、エントリー表に当該ビブス番号をユニフォーム番号として記載する。）

3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

※ユニフォームの色彩が類似するためにユニフォームの上にビブスを着用する場合、エントリー表の背番号とビブスの背番号は異なっても良いが、異なる場合は必ず審判がエントリー表通りに選手を把握すること。

5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑩選手の減少等チーム都合によって大会期間中に大会参加を辞退する場合、以降の当該チームの試合はすべて中止とし、すでに実施済みの当該チームが対象の試合もすべて無効（試合は実施されなかったもの）とする。大会参加を辞退するチームは、辞退する日以降フレンドリーマッチとして参加をすることは差し支えない。

⑪チーム都合で特定の試合を辞退した場合は棄権扱いとし、0-3の不戦敗とする。

⑫選手が新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となり、特定の節の試合に参加ができない場合は、チームとしての参加延期を認める。また、新型コロナウイルスワクチンの接種または副反応で対象選手が出場できない場合も同様とする。

尚、チーム判断で延期を選択せず当該選手を除いたメンバーで参加することは可能とする。

試合の延期を判断した場合、延期を判断したチームが中心となって代替日を調整/決定し、スケジュール作成の上、延期した試合を別日に実施する。（試合会場は問わない。）

⑬新型コロナウイルスによる学校閉鎖・学年閉鎖・学級閉鎖により、チーム活動全体またはリーグ参加対象学年全員の活動を中止した場合で、当該中止の期間が試合の日を起点に遡って連続7日以上ある場合、チームとしての参加延期を認める。尚、チーム判断で参加することも可能とする。

⑭⑫と⑬に記載する新型コロナウイルスにかかる特別対応については、新型コロナウイルスが感染症法上の5類へ以降する日をもって終了し、当該日以降は適用しない。

⑮試合の日が全校生徒または特定学年の全生徒が参加対象となる学校行事・県主催の大会（サッカー・フットサル）・県トレセン活動と重複した場合、当該節の試合延期を認める。ただし、チーム判断で当該行事や試合等に参加しないメンバーで参加することは可能とする。

⑯試合の日に学校閉鎖・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合、該当するチームの当該節の試合は延期とする。ただし、チーム判断でそれらに該当しない学校に所属するメンバーで参加することは可能とする。

⑰本大会は(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するために大会規律委員会を設置する（委員会：少年部長・副部長）

⑱その他要項に記載のない事象や不測の事態が発生した場合は、少年部長・副部長を中心にその都度協議・決定する。

14. 大会参加費用

大会参加費用として1チーム10,000円とする。ただし、鳥羽志摩協会加盟チームは、施設利用料等を含め、施設利用料等を含め1チーム20,000円とする。

15. 運営チーム ※いずれかのチームスタッフが、本部に詰めている事。

SAN FC・三重中勢伊勢YAMATO FC Jr・修道FC・パルティエダSS・一色SS・北浜SS・磯部FC Jr

16. 出場チーム

①三重中勢伊勢YAMATO FC Jr ②御菌有緝SSS ③SAN FC ④修道FC ⑤伊勢MTK FC ⑥小俣町SSS ⑦玉城JFC ⑧北浜SS ⑨パルティエダSS ⑩一色SS ⑪ISE-SHIMA ⑫鳥羽JFC ⑬阿児JFC ⑭磯部FC Jr